

"p4 obliterate"コマンドの実行結果が異なる

質問

"p4 obliterate"コマンドを実行した結果がファイルによって異なります。
削除は正しく行われているようなのですが、出力結果が異なる理由を教えてください。

出力結果例1

```
$ p4 obliterate //DIR/childDir/file0001#249
Would delete 6 client 1 opened 1 revision record(s).
This was report mode. Use -y to remove files.
```

出力結果例2

```
$ p4 obliterate //DIR/childDir/file0001#249
//DIR/childDir/file0001#249 - purged
Would delete 6 client 1 opened 1 revision record(s).
This was report mode. Use -y to remove files.
```

回答

削除対象のファイルが遅延コピー元のファイルであった場合、"p4 obliterate"コマンドを実行してもバージョン化ファイルは削除されません。

ブランチ先で対象ファイルが必要となるため、データベースから情報は削除されますが、バージョン化ファイルのみ、ディポ内に残ります。

上記のようにバージョン化ファイルが削除されない場合、"purged"のメッセージが出力されません。